

学位被授与者氏名	丹生 信行 (にう のぶゆき)
論文題目	『高慢と偏見』におけるオースティンのフェミニズム性——オースティン・モラルと間接的社会批判に着目する—— (Austen's Feminism in <i>Pride and Prejudice</i> : With Special Reference to Her Morals and Use of Indirect Social Commentary)
論文審査結果の要旨	<p>丹生氏はこれまでのオースティン批評の中で、ラディカル・フェミニストたちが活躍をした時代における痛烈な批判を踏まえた上で、昨今の M・カーカムをはじめとするフェミニスト批評家のオースティン擁護の論もしっかりと把握し、その論の不十分さを指摘し、独自の補強を試みている。反論を常に予測し、それに対する議論を展開した上で最終的に自分の論を主張する丹生氏の論述態度は学究的で真摯なものである。</p> <p>部分的には議論が荒く、飛躍しすぎているところもあり、オースティン再評価の一翼を担うには全体的に物足りなさがなくはないが、修士論文としては十分なレベルに達していると言える。最後に、日本語の論文のみならず、それを英語に翻訳したものも提出しているが、その英語についてはとてもレベルの高い英文に仕上がっていることも付け加えたい。</p> <p>平成 25 年 2 月 21 日に、北九州市立大学北方キャンパス本館 E-313 教室において、審査委員会全員出席のもとで最終試験を実施して学力を確認し、論文の説明を受け、質疑応答ののちに、全員一致で当該論文が修士（英米言語文化）として十分な内容であると判定した。</p>